

## 2013年5月運用報告書(2013年5月1日～2013年5月31日)

### 純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：8.60%】

	設定時 (1999/2/1)	2013年1月末	2013年2月末	2013年3月末	2013年4月末	2013年5月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,144,728	2,233,360	2,296,969	2,311,485	2,233,116
月次騰落率	—	9.41%	4.13%	2.85%	0.63%	-3.39%
設定来騰落率	—	114.47%	123.34%	129.70%	131.15%	123.31%

### 各セクターごとの損益

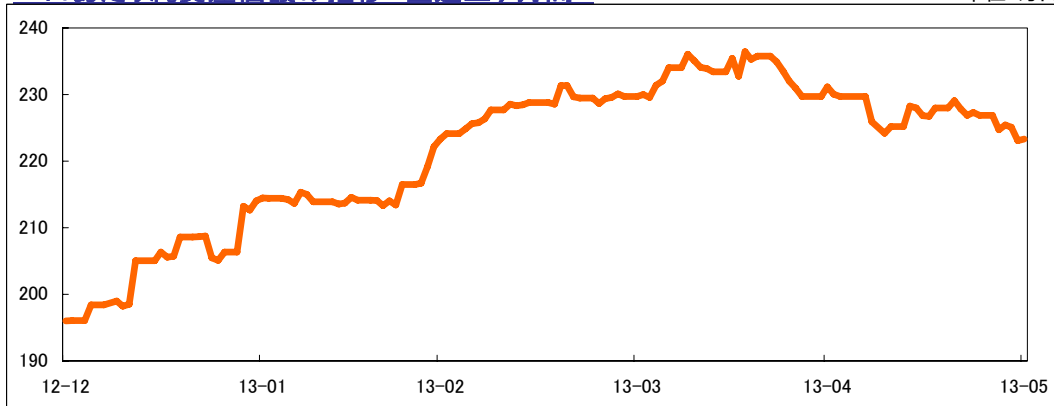
2013年5月の運用成績はマイナスとなり、アセットトライは前月比3.39%の損失となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
--	+	--	--	--	-	-

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

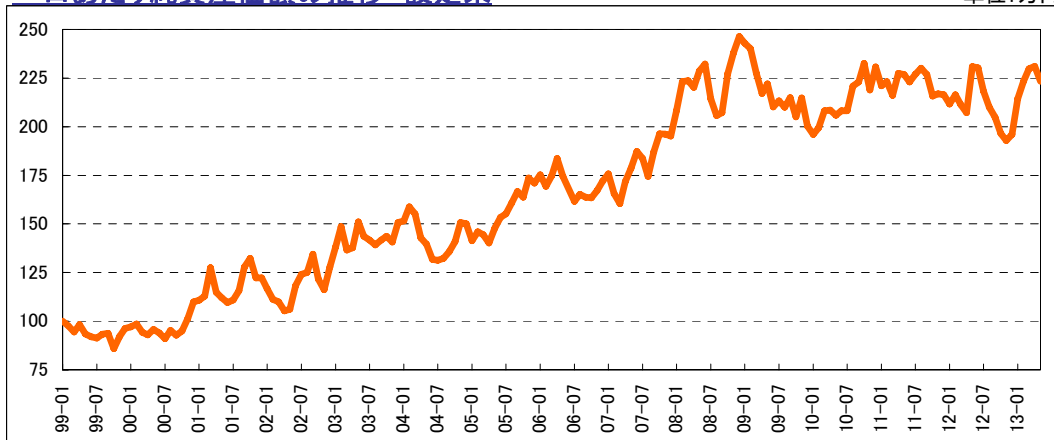
### 一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位: 万円



### 一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位: 万円



### マーケット概要

米ドルは対ユーロではドル高傾向となり、英ポンド、豪ドルが下落するなどドル全面高傾向となりました。欧州経済の停滞、中国経済と相関の高い豪州経済の停滞が背景となりました。円相場は97円台から円安傾向となり、103円超えの場面も見られましたが、実需の円売りも続かず、株式市場が下落に転じると円高傾向へと転じ、100円台半ばまでの円高が進行しました。

主要国の短期金利は、欧州中銀(ECB)が追加利下げを決定し、日米も緩和的な金融緩和策を維持するなか低水準での横ばいを継続、スイスではマイナス金利が続きました。長期金利は、米金融当局が量的金融緩和を早期に縮小するのはとの見方が強まったことから米国債利回りは月間を通して上昇。ドイツ、英国、日本など他の主要国の国債利回りも連動高となりました。

主要国の株価指数は、当初は米国経済の堅調さと、各国の金融緩和による資金流入が見込まれ上昇傾向を継続しNYダウ、独DAX指数は一時過去最高値を更新しました。ただ、米国の量的金融緩和縮小見通しが強まるなか、日本株急落をきっかけに株式市場全体に調整圧力が強まり、特に昨年からの上昇幅の大きかった日本株は月初とほぼ同水準で越月しました。

原油相場は、ブレント原油は月間を通しておおむね100～105ドルでの横ばいとなりました。夏場のガソリン需要期を控えて製品在庫が積み上がり、原油の動きも停滞。また、米国経済の底固さなどから国際エネルギー機関(IEA)が2013年の石油需要見通しを上方修正し相場の下支えとなる一方、米国の量的金融緩和縮小見通しが上値を抑制しました。

金相場は当初の1,475ドルから反発しましたが、高値は1,487ドルと上昇は限定的となり下落へと転じました。米国市場では金ETFの持ち高を解消する動きが続き、ドル高傾向から調整地合が強まったこともあり1,450ドル割れを経て1,390ドル割れまで続落。ただ、安値では上海、香港、シンガポール等で現物需要が増加したことが、下支えとなりました。

大豆相場は、南米の港湾ストライキなどから米国大豆の輸出需要の増加が見込まれるなか、旧穀の品薄感からシカゴ大豆の期近限月が1,500セント超へ上昇しました。また、米国中西部では大豆の作付けシーズンを迎えたものの、多雨と低温により作業が平年より大幅に遅れるなど、洪水の被害も懸念されるなかで生産への不安が強まり、下旬には新穀限月も急伸しました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。



## 「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.10%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業者指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル  
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

## 「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

### 金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会